

科目名	ガスエネルギー実習 1							年度	2025
英語科目名	Gas Energy Training 1							学期	前期
学科・学年	電子・電気科 電気工学コース 2年次	必／選	選 2	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	連携企業担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ガス技術者		
【科目の目的】 世界、日本のエネルギー事情を元にガスエネルギー利用の必要性、利用方法、電気エネルギーとの関係、ガス設備などについて学び、再生エネルギーの普及やエネルギー自由化など多様化するエネルギー事情の中で適切な電気エネルギーを選択、取り扱うことが出来る知識を身につける事を目標とする。									
【科目の概要】 ガスエネルギー技術を習得する上で必要な各種測定器やガス関連機器の構造や設備などについて実習を通して学ぶ。									
【到達目標】 世界、日本のエネルギー事情を元にガスエネルギー利用の必要性、利用方法、電気エネルギーとの関係、ガス設備などについて学び、再生エネルギーの普及やエネルギー自由化など多様化するエネルギー事情の中で適切な電気エネルギーを選択、取り扱うことが出来る知識を身につける事を目標とする。									
【授業の注意点】 この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。実習科目の為、理由の有無に関わらず遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ガス関連計器を理解し、適切に取り扱う事ができる		ガス関連計器を理解している		ガス関連計器を知らない				
到達目標 B	ガスエネルギーを安全に取り扱う方法を理解し、機器を扱う事ができる		ガスエネルギーを安全に取り扱う方法を理解している		ガスエネルギーを安全に取り扱う方法を知らない				
到達目標 C	ガス関連装置を理解し、適切な取り扱い・メンテナンスができる		ガス関連装置を理解し、取り扱い・メンテナンスができる		ガス関連装置を知らない				
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験：70%試験を総合的に評価する。小テスト：15%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

[illegible]